

専門基礎 分野					令和7年度	
授業科目名	形態機能学Ⅰ 講義、解剖見学					
講師名	加藤 一夫			実務経験		
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間	
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期	
学習目的	人体を構成する各部の構造と機能を理解し、人体の活動にどのような意識をもつのかを学ぶ。 人体発生の概略・遺伝・老化を学習し、人間を統合して考えられる。 解剖学教室を見学することで机上の学習と人体の構造の実際を統合することができる。					
到達目標						
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	解剖学総論 解剖学とは、生理学とは				講義	
2	体表解剖学Ⅰ 体表から触れる骨、筋等				講義	
3	体表解剖学Ⅱ 体表から触れる筋、脈管等				講義	
4	解剖学総論 体腔、身体の区分、体表からみた各部の器官、基準面等				講義	
5	解剖学総論 細胞内小器官、エネルギー発生、細胞分裂、DNA、タンパク合成、組織				講義	
6	解剖学総論 支持組織、上皮、結合組織、筋、骨、器官系概論				講義	
7	解剖学総論 器官系(消化、呼吸、泌尿、循環等)				講義	
8	解剖学総論 血液、赤血球の代謝等				講義	
9	解剖学総論 循環、骨格、骨格筋等				講義	
10	解剖学総論 神経系、防御系、生殖系、概略				講義	
11	解剖学総論 生殖系、発生、解剖見学講義Ⅰ				講義	
12	解剖学総論 解剖見学講義Ⅱ				講義	
13	解剖学総論 解剖見学講義Ⅲ				講義	
14	解剖学総論 解剖見学講義Ⅳ				講義	
15	テスト					
教科書	系統看護学講座 人体の構造と機能1 解剖生理 :医学書院					
参考書・資料等	解剖生理学ワークブック :医学書院 形態機能学 :日本看護協会 メディカルインデックス :TECOM出版 ナースが視る人体 :講談社					
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験(100点)					
関連科目						
学生へのメッセージ	体の仕組みを理解し、健康な日常生活が送れるよう一緒に学んでいきましょう。					

専門基礎 分野					令和7年度	
授業科目名	形態機能学Ⅱ 消化器系、呼吸器系、血液・造血器系					
講師名	WAGON 講師			実務経験	講師	
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間	
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期	
学習目的	食物を摂取し消化・吸収・排泄する仕組みを科学的に理解する 呼吸器系の構造・呼吸のプロセス・呼吸の調節について科学的に理解する。 造血・血液の仕組みについて科学的に理解する。					
到達目標						
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	消化器(口腔・食堂)、胃				講義	
2	十二指腸、空腸				講義	
3	小腸、大腸、肝臓				講義	
4	膵臓、胆のう、直腸				講義	
5	消化器			小テスト	講義	
6	呼吸器(上気道、下気道、肺胞)				講義	
7	呼吸器(筋肉、圧、呼吸調整)				講義	
8	呼吸器(ガス交換、酸素乖離曲線)				講義	
9	呼吸器(スパイロメトリー、呼吸音)				講義	
10	呼吸器(酸塩基、異常呼吸)			小テスト	講義	
11	血液(血漿成分)				講義	
12	血液(白血球)				講義	
13	血液(赤血球、血液型)				講義	
14	血液(血小板、止血について)			小テスト	講義	
15	テスト					
教科書	系統看護学講座 人体の構造と機能1 解剖生理 :医学書院 系統看護学講座 消化器 呼吸器 血液・造血器 :医学書院					
参考書・資料等	解剖生理学ワークブック :医学書院 形態機能学 :日本看護協会 ナースが視る人体 :講談社					
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験					
関連科目						
学生へのメッセージ						

専門基礎 分野					令和7年度	
授業科目名	形態機能学Ⅲ 循環器、骨・筋系、腎泌尿器系、女性生殖器					
講師名	WAGON 講師			実務経験	講師	
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間	
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期	
学習目的	心臓や血管などの血行路、リンパ流路を科学的に理解する。 体を支え、動かす仕組みを科学的に理解する。 尿を作る仕組みを科学的に理解する 子孫を残す仕組みについて科学的に理解する。					
到達目標						
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	循環器 心臓のつくり、弁の名前				講義	
2	循環器 血液の流れ				講義	
3	循環器 心臓、弁の動き				講義	
4	循環器 全身の血管名				講義	
5	循環器 心電図、リンパの流れ				講義	
6	循環器 心筋(特殊・固有)				講義	
7	循環器のまとめ				講義	
8	骨格系 骨の構造と機能、名称				講義	
9	骨格系 筋肉の構造と機能、名称				講義	
10	腎・泌尿器系 腎臓の構造、名称				講義	
11	腎・泌尿器系 尿生成のしくみ 活				講義	
12	腎・泌尿器系 レニン、アンギオテンシン、アルドステロン系				講義	
13	男性生殖器 構造と機能				講義	
14	女性生殖器 性周期とホルモン 妊娠の仕組み				講義	
15	テスト					
教科書	系統看護学講座 人体の構造と機能1 解剖生理 :医学書院 系統看護学講座 循環器 運動器 腎・泌尿器 女性生殖器 :医学書院					
参考書・資料等	解剖生理学ワークブック :医学書院 形態機能学 :日本看護協会 ナースが視る人体 :講談社 メディカルインデックス :テコム社					
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験					
関連科目						
学生へのメッセージ						

専門基礎 分野					令和7年度	
授業科目名	形態機能学Ⅳ 脳神経系、感覚器(眼、耳鼻咽喉、皮膚)、内分泌					
講師名	金井 信行			実務経験	医師	
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間	
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	通年	
学習目的	器官系統別に人体を動かす仕組みや機能を理解する。					
到達目標						
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	脳神経系	1)神経の構成 2)ニューロンのはたらき			講義	
2		3)伝導路、脳の役割と構造、機能①			講義	
3		伝導路、脳の役割と構造、機能②			講義	
4		伝導路、脳の役割と構造、機能③			講義	
5		伝導路、脳の役割と構造、機能④			講義	
6	感覚器(眼、耳鼻咽喉、皮膚)	眼、耳鼻咽喉、皮膚の解剖生理 身近な病気(風邪、咽頭炎、結膜炎、水痘)			講義	
7		皮膚の組織 上皮、腫瘍、皮疹			講義	
8		眼、耳鼻咽喉、の解剖			講義	
9		皮膚、水痘、HSV、風疹、麻疹、眼病、糖尿病			講義	
10		音光物理 聴力障害、めまい 視力検査、近視、老視、LASIK			講義	
11		眼、耳鼻咽喉、皮膚 国試問題①			講義	
12		眼、耳鼻咽喉、皮膚 国試問題②			講義	
13	内分泌	組織・機能・役割①			講義	
14		組織・機能・役割②			講義	
15	テスト					
教科書	系統看護学講座 人体の構造と機能1 解剖生理 :医学書院 系統看護学講座 脳神経 眼 耳鼻咽喉 皮膚 内分泌 :医学書院					
参考書・資料等	解剖生理学ワークブック :医学書院 メディカルインデックス :テコム出版 ナースが視る人体 :講談社					
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験					
関連科目						
学生へのメッセージ	構造、機能、疾患、看護を結びつけて考える土台を作ろう。					

専門基礎 分野					令和7年度	
授業科目名	栄養学					
講師名	後藤 一美			実務経験	管理栄養士	
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間	
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期	
学習目的	生命の維持、成長、機能の維持エネルギー生産に必要な栄養素とその適正量を理解する。 人間にとっての「食」、「栄養」の意義を理解する。 病態に応じた食事療法と疾病の予防のための食事を理解する。					
到達目標						
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	人間栄養学と看護 栄養の意味、栄養素と人の栄養状態の関係、保健医療における栄養学				講義	
2	栄養素の種類と働き 糖質、脂質				講義	
3	栄養素の種類と働き タンパク質、ビタミン				講義	
4	栄養素の種類と働き ビタミン、ミネラル				講義	
5	栄養素の種類と働き ミネラル、食物繊維、水				講義	
6	食物の消化と栄養素の吸収・代謝 食物の消化 ～栄養素の吸収				講義	
7	食物の消化と栄養素の吸収・代謝 血漿成分と栄養素 ～吸収・代謝産物の排泄				講義	
8	エネルギー代謝 食品のエネルギー ～エネルギー消費 食事と食品 栄養アセスメントの方法 ～栄養状態の統合評価				講義・演習	
9	栄養ケア・マネジメント 栄養ケア・マネジメントとは ～栄養ケア・マネジメントの評価 栄養状態の評価・判定 栄養アセスメントの方法 ～栄養状態の総合評価				講義	
10	ライフステージと栄養 乳児期における栄養、成人期における栄養				講義	
11	ライフステージと栄養 妊娠期における栄養、高齢期における栄養				講義	
12	臨床栄養 チームで取り組む栄養管理 ～静脈栄養剤				講義	
13	臨床栄養 疾患・症状別食事療法、痩せ・低栄養患者の食事療法 ～がん患者の栄養・食事療法				講義	
14	健康づくりと食生活 食生活の変遷と栄養の問題 ～職の安全性と表示				講義	
15	テスト					
教科書	系統看護学講座 人体の構造と機能3 栄養学 :医学書院					
参考書・資料等	医・新食品成分表 FOOD 2021 :東京法令					
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験					
関連科目						
学生へのメッセージ	栄養学は、食べることの意味を知ることです。 一緒に考えていきましょう。					

専門基礎 分野					令和 7 年度	
授業科目名	感染症と微生物学					
講師名	久保川 利哉			実務経験	講師	
単位数	1 単位	授業回数	8 回	時間数	15 時間	
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期	
学習目的	病原微生物学の基礎的知識を学ぶことにより、医療チームの一員として実際の看護を行う上で役立てる。					
到達目標						
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	微生物学とは (1)細菌学 総論 1				講義	
2	(2)細菌学 総論 2				講義	
3	(3)細菌学 各論 一般細菌				講義	
4	(4)真菌学 総論、各論 1				講義	
5	真菌学 総論、各論 2				講義	
6	(5)ウイルス学 総論 ～ウイルスとは、ウイルスの増殖の仕方				講義	
7	ウイルス学 各論 ～インフルエンザウイルス、寄生虫学、原虫 etc				講義	
8	テスト					
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 4 微生物学 :医学書院					
参考書・資料等						
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験					
関連科目						
学生へのメッセージ						

専門基礎 分野					令和7年度	
授業科目名	生化学					
講師名	半田 良廣			実務経験	講師	
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間	
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期	
学習目的	生体における物質代謝や生体エネルギー生成の機構を理解する。 正常な状態の生理機能や病的状態を、分子レベルから理解する。					
到達目標	糖質、脂質、タンパク質の消化・吸収について説明できる。 生命活動における物質代謝および代謝調節について説明できる。 物質代謝と病気の関係について説明できる。					
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	生化学の基礎 生化学とは、生命、細胞の構造			課題(章末のゼミナール)	講義	
2	代謝の基礎と酵素・補酵素 三大栄養素、酵素、補因子、酵素の反応速度、阻害			課題(章末のゼミナール)	講義	
3	糖質 単糖の構造と機能、二糖・多糖の構造と機能			課題(章末のゼミナール)	講義	
4	糖質代謝 糖質の消化と吸収、グルコースの分解、ペントースリン酸経路、糖新生			課題(章末のゼミナール)	講義	
5	脂質 脂質角構造と機能、種類			課題(章末のゼミナール)	講義	
6	脂質代謝 脂質の消化と吸収、脂肪酸の分解			課題(章末のゼミナール)	講義	
7	タンパク質 アミノ酸、タンパク質の構造			課題(章末のゼミナール)	講義	
8	タンパク質代謝 タンパク質の消化と吸収、アミノ酸の分解			課題(章末のゼミナール)	講義	
9	ポルフィリン代謝 ポルフィリン、生体異物代謝			課題(章末のゼミナール)	講義	
10	遺伝子と核酸 遺伝、染色体、核酸			課題(章末のゼミナール)	講義	
11	遺伝子の複製・修復・組み換え DNAの複製・修復・組み換え、遺伝子多型			課題(章末のゼミナール)	講義	
12	転写 転写の開始・伸長・終結、RNAのプロセシング、遺伝子の発現調節			課題(章末のゼミナール)	講義	
13	翻訳 翻訳のメカニズム、翻訳後修飾			課題(章末のゼミナール)	講義	
14	シグナル伝達 がんの性質			課題(章末のゼミナール)	講義	
15	テスト					
教科書	系統看護学講座 人体の構造と機能2 生化学 :医学書院					
参考書・資料等	高校時に使用した生物の教科書があるとよい					
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験(100点)					
関連科目						
学生へのメッセージ	体内でおこっていることを物質レベルから理解するための基礎知識を学びます。 他の授業を学ぶ際に生化学と関連付けて学ぶことで、より深く理解できるようになります。					

専門基礎 分野					令和7年度
授業科目名	疾病論Ⅰ 病理学概論、病態生理学、リハビリテーション療法				
講師名	①金井信行 ②理学療法士			実務経験	① 医師 ② 理学療法士
単位数	2 単位	授業回数	23 回	時間数	45 時間
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	通年
学習目的	【病理学概論】・【リハビリ療法】 疾病、病変の原因や発生原理と人体の反応を学び、基礎的診断・治療を理解する。 【病態生理学】 疾病・病変の原因や発生原理と人体の反応を学び、人体のメカニズムを理解する。 リハビリテーションの特徴を理解し看護に活かす。				
到達目標					
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法
1	病理学概論	病理学総論 病理学とは、疾病とは			講義
2		変性、創傷治療(修復)、壊死			講義
3		循環障害(血栓、栓塞など)			講義
4		循環障害(側副循環、シック、高血圧、DICなど) 炎症と免疫反応			講義
5		アレルギー、免疫不全、自己免疫、臓器移植など			講義
6		細菌(病原微生物)、代謝障害			講義
7		老化と死、先天異常			講義
8		腫瘍			講義
9	病態生理学	病態生理 炎症修復、壊死、循環障害、脳梗塞、心筋梗塞、肺血栓、塞栓症			講義
10		急性肝不全、ショック、心不全、心筋梗塞、脳梗塞の合併症			講義
11		炎症各論① 肺炎、急性虫垂炎、尿路系炎症			講義
12		炎症各論② その他			講義
13		いろいろながん① 消化器系、呼吸器系			講義
14		いろいろながん② その他			講義
15		まとめ			講義
16	リハビリテーション療法	脳血管障害に対するリハビリテーション①			講義
17		脳血管障害に対するリハビリテーション②			講義
18		リハビリテーション看護			講義
19		視覚・聴覚障害、下肢切断に対するリハビリテーション看護			講義
20		呼吸機能障害、心不全についてのリハビリテーション看護			講義
21		リハビリテーション実習① ADL 実習			演習
22		リハビリテーション実習②			演習
23	テスト				
教科書	系統看護学講座 専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進1 病理学 :医学書院 系統看護学講座 専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進2 病態生理学 :医学書院 系統看護学講座 専門基礎 別巻 リハビリテーション :医学書院				
参考書・資料等	メディカルインデックス 第3版 :テコム出版 解剖生理ワークブック :医学書院 看護 形態機能学 :日本看護協会出版 ナースが視る病氣 :講談社 ナースが視る人体 :講談社				
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験(病理学概論・病態生理学:70点/リハビリテーション療法:30点)				
関連科目					
学生へのメッセージ					

専門基礎 分野					令和7年度	
授業科目名	疾病論Ⅱ 消化器、内分泌					
講師名	WAGON 講師			実務経験	講師	
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間	
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	後期	
学習目的	各器官系統別に疾患の病態生理と症状・診断・予後を学ぶ。 【消化器】 消化・吸収の機能の障害を持つ対象のアセスメントができるように消化器の機能の障害について成り立ちを理解する。 主な疾患の病態、特有の症状、検査、治療法を学ぶ。 【内分泌】 内分泌・代謝機能障害を持つ対象のアセスメントができるようになるため、内分泌・代謝の機能障害について成り立ちを理解する。主な疾患の病態、特有の症状、検査、治療法を学ぶ。					
到達目標						
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	逆流性食道炎 概要、原因、治療、看護				講義	
2	食道がん 概要、原因、治療、看護				講義	
3	胃・十二指腸潰瘍 概要、原因、治療、看護			小テスト	講義	
4	胃がん 概要、原因、治療、看護				講義	
5	ダンピング症候群				講義	
6	消化器疾患 潰瘍性大腸炎、クローン病、大腸疾患全般				講義	
7	消化器疾患 大腸がん、その他			小テスト	講義	
8	消化器疾患 便秘、腸閉塞(イレウス)				講義	
9	消化器疾患 肝炎、肝硬変、肝がん ①				講義	
10	消化器疾患 肝炎、肝硬変、肝がん ②				講義	
11	消化器疾患 膵炎、胆管炎、ERCP、黄疸			小テスト	講義	
12	内分泌疾患				講義	
13	内分泌疾患 甲状腺疾患、副甲状腺について				講義	
14	代謝疾患 糖尿病				講義	
15	テスト					
教科書	系統看護学講座 成人看護学5 消化器 :医学書院 系統看護学講座 成人看護学6 内分泌・代謝 :医学書院					
参考書・資料等	解剖生理ワークブック :医学書院 看護 形態機能学 :日本看護協会出版 ナースが視る病気 :講談社 ナースが視る人体 :講談社					
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験					
関連科目						
学生へのメッセージ						

専門基礎 分野					令和7年度	
授業科目名	疾病論Ⅲ 呼吸器、アレルギー・膠原病					
講師名	① WAGON 講師		②金井 信行		実務経験	①講師 ②医師
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間	
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	後期	
学習目的	各器官系統別に疾患の病態生理と症状・診断・予後を学ぶ。 【呼吸器】 呼吸の機能の障害を持つ対象のアセスメントが出来るように呼吸器の機能の障害の成り立ちを理解する。 主な疾患の病態特有の症状、検査、治療法を学ぶ。 【アレルギー・膠原病】 アレルギーの発生の機序、免疫機能を理解し、疾患の病態、症状、検査、治療法を学ぶ。					
到達目標						
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	呼吸器	呼吸器の構造と機能				講義
2		主要症状と検査				講義
3		COPD、気管支喘息				講義
4		呼吸器の構造と機能				講義
5		肺がん、喫煙 肺がんの診断と治療				講義
6		その他の肺疾患				講義
7		呼吸不全				講義
8	アレルギー・ 膠原病	概要、免疫、アレルギー、膠原病				講義
9		アナフィラキシー				講義
10		ステロイドの副作用				講義
11		血液型、免疫				講義
12		SLE、レイノー症状、強皮症				講義
13		慢性関節リウマチ				講義
14		川崎病～アナフィラキシー、アレルギー				講義
15	テスト					
教科書	系統看護学講座 成人看護学2 呼吸器 :医学書院 系統看護学講座 成人看護学 11 アレルギー・膠原病 :医学書院					
参考書・資料等	解剖生理ワークブック :医学書院 看護 形態機能学 :日本看護協会出版 ナースが視る病気 :講談社 ナースが視る人体 :講談社 メディカルインデックス :テコム出版					
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験(呼吸器系:50 点/アレルギー・膠原病:50 点)					
関連科目						
学生への メッセージ	【呼吸器】 【アレルギー・膠原病】					

専門基礎 分野					令和7年度	
授業科目名		疾病論Ⅳ 循環器系、血液・造血器系				
講師名		WAGON 講師			実務経験	講師
単位数		1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間
履修年度		2025 年度	学年	1 年次	履修期	後期
学習目的		【循環器系】 循環器系疾患の病態生理と症状・診断・予後を学ぶ。 【血液・造血器系】 循環器系疾患の病態生理と症状・診断・予後を学ぶ。				
到達目標						
学習スケジュール					課題・小テスト・使用機材等	授業方法
1	循環器系	心電図				講義
2		不整脈				講義
3		狭心症				講義
4		心筋梗塞				講義
5		心不全①				講義
6		心不全②				講義
7		大動脈解離、高血圧				講義
8		心タンポナーデ、弁膜症、心筋症				講義
9	血液・造血器系	血液、生体防御				講義
10		チアノーゼ、輸血、アレルギー				講義
11		血液系疾患、白血病				講義
12		ATL、DIC、ITP、血友病				講義
13	循環器、血液・造血器 まとめ①				講義	
14	循環器、血液・造血器 まとめ②				講義	
15	テスト					
教科書		系統看護学講座 成人看護学3 循環器 :医学書院 系統看護学講座 成人看護学4 血液・造血器 :医学書院				
参考書・資料等		解剖生理ワークブック :医学書院 看護 形態機能学 :日本看護協会出版 ナースが視る病気 :講談社 ナースが視る人体 :講談社				
評価指標		出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験				
関連科目						
学生へのメッセージ						

専門基礎 分野					令和7年度	
授業科目名		疾病論Ⅴ 脳神経(内科)・脳神経(外科)・運動器系				
講師名		WAGON 講師			実務経験	講師
単位数		1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間
履修年度		2025 年度	学年	1 年次	履修期	後期
学習目的		循環器系疾患の病態生理と症状・診断・予後を学ぶ。				
到達目標						
回数	内 容				課題・小テスト・使用機材等	授業方法
1	脳の正常 脳神経伝導路、脳脊髄液の生成のしくみ					講義
2	外傷性 硬膜外出血、硬膜下出血					講義
3	神経伝達物質 交感Nと副交感Nの構造					講義
4	脳血管性疾患	くも膜下出血				講義
5		脳内出血				講義
6		脳梗塞				講義
7		高次脳障害、グリア細胞				講義
8	神経疾患	多発性硬化症 他まとめ				講義
9		パーキンソン病				講義
10		ALS				講義
11		ギランバレー症候群				講義
12	運動器疾患	重症筋無力症				講義
13		大腿骨頸部骨折				講義
14		脊髄損傷、椎間板ヘルニア				講義
15	テスト					
教科書		系統看護学講座 成人看護学7 脳・神経 :医学書院 系統看護学講座 成人看護学 10 運動期 :医学書院				
参考書・資料等		解剖生理ワークブック :医学書院 看護 形態機能学 :日本看護協会出版 ナースが視る病気 :講談社 ナースが視る人体 :講談社				
評価指標		出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験				
関連科目						
学生へのメッセージ						

専門基礎 分野					令和7年度	
授業科目名	疾病論Ⅵ 耳鼻咽喉・眼科・皮膚、歯・口腔					
講師名	①金井 信行 ②中村 敦			実務経験	①②医師	
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間	
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	後期	
学習目的	各器官系統別に疾患の病態生理と症状・診断・予後を学ぶ。					
到達目標						
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	耳鼻咽喉・眼科・皮膚	皮膚の構造と機能 復習			講義	
2		疾患① 湿疹、蕁麻疹、真菌感染			講義	
3		疾患② ウイルス性疾患、腫瘍、その他			講義	
4		眼の構造と機能 復習			講義	
5		疾患① 屈折異常、結膜炎、角膜炎			講義	
6		疾患② 白内障、緑内障、網膜剥離			講義	
7		疾患③ 全身疾患と眼			講義	
8		耳鼻咽喉の構造と機能 復習			講義	
9		疾患① 難聴、嚙声、めまい、外耳・中耳疾患			講義	
10		疾患② 鼻腔咽頭疾患			講義	
11		疾患③ 咽頭疾患 その他			講義	
12	歯・口腔	歯・口腔について			講義	
13		疾患の理解と看護について			講義	
14		事例による看護過程の展開と口腔ケアについて			講義	
15	テスト					
教科書	系統看護学講座 成人看護学 14 耳鼻咽喉 : 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 13 眼 : 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 12 皮膚 : 医学書院 系統看護学講座 成人看護学 15 歯・口腔 : 医学書院					
参考書・資料等	解剖生理ワークブック : 医学書院 看護 形態機能学 : 日本看護協会出版 ナースが視る病気 : 講談社 ナースが視る人体 : 講談社					
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験(耳鼻咽喉・眼科・皮膚:80 点/歯・口腔:20 点)					
関連科目						
学生へのメッセージ						

専門基礎 分野

令和7年度

授業科目名	疾病論Ⅶ 腎・泌尿器、女性生殖器・乳房				
講師名	久保川 利哉			実務経験	講師
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	後期
学習目的	各器官系統別に疾患の病態生理と症状・診断・予後を学ぶ。				
到達目標	臨床の現場で役立つ実践的な知識を身につける。				
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法
1	腎・泌尿器	症状と病態生理			講義
2		検査			講義
3		治療			講義
4		内科的疾患			講義
5		腎血管性疾患			講義
6		尿路の通過障害			講義
7		尿路性器の悪性腫瘍			講義
8	女性生殖器・乳房	B臓器別疾患、膣炎、D感染症			講義
9		子宮筋腫、子宮内膜症、C機能的疾患、更年期障害			講義
10		子宮頸がん、子宮体部がん			講義
11		絨毛性疾患(胎状奇胎・絨毛がん)			講義
12		乳がん			講義
13		不妊症			講義
14		その他			講義
15	テスト				
教科書	系統看護学講座 成人看護学8 腎・泌尿器 :医学書院 系統看護学講座 成人看護学9 女性生殖器 :医学書院				
参考書・資料等	解剖生理ワークブック :医学書院				
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験(100点)				
関連科目					
学生へのメッセージ					

専門基礎 分野				令和7年度	
授業科目名	薬理学				
講師名	眞原 達男			実務経験	薬剤師
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	後期
学習目的	薬理作用の基本を学び、取扱い方、与薬方法、管理を修得する。 代表的な薬物の作用、副作用、特徴を学ぶ。				
到達目標	薬の薬理作用を理解し、代表的な薬物の作用、副作用、相互作用などが想像できる能力を身につける。				
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法
1	薬理学総論① 薬理学とは 薬力学 薬物動態学			PC(パワーポイント)・ プリント等	講義
2	薬理学総論② 相互作用 薬物使用の有益性と危険性			PC(パワーポイント)・ プリント等	講義
3	抗感染症薬 薬と法律 抗感染症薬			PC(パワーポイント)・ プリント等	講義
4	抗がん薬 合成化学療法薬、抗ウイルス薬、抗がん薬			PC(パワーポイント)・ プリント等	講義
5	免疫治療薬 免疫系の基礎知識、免疫抑制剤、抗アレルギー薬			PC(パワーポイント)・ プリント等	講義
6	末梢神経薬 末梢神経による情報伝達、交感神経・副交感神経作用薬			PC(パワーポイント)・ プリント等	講義
7	中枢神経薬① 中枢神経に作用する薬物 抗精神病薬、全身麻酔薬、催眠薬、抗不安薬			PC(パワーポイント)・ プリント等	講義
8	中枢神経薬② 抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬、降圧薬、狭心症治療薬			PC(パワーポイント)・ プリント等	講義
9	循環器系に作用する薬物 抗不整脈薬、利尿薬、脂質異常症治療薬 血液凝固系に作用する薬物			PC(パワーポイント)・ プリント等	講義
10	呼吸器・消化器作用する薬物 気管支喘息治療薬、消化性胃潰瘍治療薬 女性生殖器に作用する薬物 泌尿器に作用する薬物			PC(パワーポイント)・ プリント等	講義
11	代謝に作用する薬物 糖尿病治療薬、甲状腺疾患治療薬 皮膚に使用する薬物			PC(パワーポイント)・ プリント等	講義
12	救急の際に使用される薬物・漢方			PC(パワーポイント)・ プリント等	講義
13	消毒薬・輸液製剤・輸血剤			PC(パワーポイント)・ プリント等	講義
14	まとめ 薬理学演習問題			PC(パワーポイント)・ プリント等	講義
15	テスト				
教科書	系統看護学講座 専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進3 薬理学 :医学書院				
参考書・資料等	今日の治療薬 2025 年:南江堂 薬がみえる:MEDIC MEDIA				
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験(100 点)				
関連科目	病理学・病態生理学が基本となります。				
学生への メッセージ	薬理学とは、「薬はどうやって効くの?」を学ぶ学問です。 臨床で良く使用する薬をもとに病態と薬理作用について学んでいきましょう。				

専門基礎 分野					令和7年度
授業科目名	看護師が視るからだと病気				
講師名	門馬 良明			実務経験	看護師
単位数	1 単位	授業回数	8 回	時間数	15 時間
履修年度	2025 年度	学年	3 年次	履修期	前期
学習目的	看護師の観点から人体を系統だてて理解し、健康・疾病・障害に関する観察力・判断力を養い、看護のための形態機能学・疾病論を生活行動につなげて考える。				
到達目標	1. 臨床看護師が行う臨床判断のプロセスが分かる。 2. 症状や疾患のメカニズムを理解し、その概要を説明する。 3. シナリオ事例を理解するために、臨床判断の思考過程をたどることができる。				
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法
1	臨床の看護師が行う臨床判断のプロセス				講義
2	循環・水と電解質(循環に問題のある患者・水分出納管理が必要な患者)				講義
3	体温調整・感染(体温調整に問題のある患者・感染症)			事前レポート	講義・演習
4	呼吸、酸・塩基バランス(呼吸状態に問題のある患者・アシドーシス・アルカローシス)				講義
5	栄養・血糖調整(栄養制限している患者・経口摂取できない患者・血糖調整している患者)				講義
6	運動機能(可動性に問題のある患者)				講義
7	疼痛・炎症(疼痛がある患者・炎症がある患者)			事前レポート	講義・演習
8	テスト				
教科書	授業資料配布				
参考書・資料等	看護のための人間論 ナースが視る人体 薄井坦子 :講談社 看護のための疾病論 ナースが視る病気 薄井坦子 :講談社				
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験(100点)				
関連科目	形態機能学・疾病論・基礎看護技術等				
学生へのメッセージ	形態機能学や薬理学の知識を臨床(看護)の現場でどのよう結び付けて思考し、判断するのかを学びます。				

専門基礎 分野					令和7年度	
授業科目名	社会福祉学					
講師名	鈴木 隆浩			実務経験	社会福祉士	
単位数	2 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間	
履修年度	2025 年度	学年	2 年次	履修期	前期	
学習目的	社会保障の理念、社会保険制度及び社会福祉に関する法や施策について理解する。					
到達目標	自らが日本で生活していく中で、利用できる制度について理解し、人に伝えることができるようになる。					
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	社会保障制度と社会福祉 概念・目的・機能・体系・内容				講義	
2	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 人口動態・地域社会の変化・新たな社会保障や福祉の動き、変化				講義	
3	医療保障 我が国の医療保障制度				講義	
4	介護保障① 介護保険制度について理解する				講義	
5	介護保障② サービス内容について 権利擁護、成年後見制度について				講義	
6	所得補償 我が国の年金保険制度のしくみについて				講義	
7	公的扶助 生活保護法について理解する				講義	
8	社会福祉分野とサービス① 障害者福祉制度について理解する				講義	
9	社会福祉分野とサービス② 障害者総合支援法について理解する				講義	
10	社会福祉分野とサービス③ 高齢者福祉の施策について理解する				講義	
11	児童家庭福祉 児童における制度について理解する				講義	
12	社会福祉実践と医療看護 社会福祉援助について 連携の重要性について				講義	
13	社会保障のまとめ① 日本の制度(社会保障)について再確認する				講義	
14	社会保障のまとめ② 年金・医療保険について再確認する				講義	
15	テスト					
教科書	系統看護学講座 専門基礎 健康支援と社会保障制度3 社会保障・社会福祉 :医学書院					
参考書・資料等	国民衛生の動向 :厚生労働省統計協会					
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験					
関連科目						
学生へのメッセージ	「社会福祉」は身の回りの気づかないところに存在しています。一生涯において一切社会福祉に関わらない人はいません。社会福祉の奥深さに触れて、今後の「看護師」「医療職」として深みのある人になってほしいと願います。					

専門基礎 分野					令和7年度	
授業科目名	医療概論					
講師名	佐田 尚宏			実務経験	医師	
単位数	1 単位	授業回数	8 回	時間数	15 時間	
履修年度	2025 年度	学年	1 年次	履修期	前期	
学習目的	医療を取り巻く社会情勢や、医療の歴史的変遷から現状と課題を学び、看護職としての倫理観と看護者にふさわしい感性を養う。					
到達目標	医療の様々な問題に関心が持てる。					
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	第1章 生きること、死ぬこと				講義	
2	第2章 医療と医学 第3章 保健・医療				講義	
3	第3章 公衆衛生と保健①				講義	
4	第3章 公衆衛生と保健②				講義	
5	第4章 医療と社会				講義	
6	第5章 医療経済学と医療政策				講義	
7	過去国試問題練習				講義	
8	テスト					
教科書	系統看護学講座 専門基礎 健康支援と社会保障制度1 医療概論 :医学書院					
参考書・資料等						
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験					
関連科目						
学生への メッセージ						

専門基礎 分野					令和7年度	
授業科目名		関係法規				
講師名		福田 彭知		実務経験	労務管理士	
単位数	1 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間	
履修年度	2025 年度	学年	2 年次	履修期	前期	
学習目的	法の概念を理解する。 人々の健康を守るための従事者に関する法や施策及びサービス提供体制について理解する。 医療過誤と訴訟を理解し、安全への認識を養う。					
到達目標	国家試験合格に対応できるよう、講義を行う。					
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	健康支援と法律 法律の基礎知識 健康支援に関する法規 他				講義	
2	医療の提供に関連する法律 保健師・助産師・看護師法①				講義	
3	医療の提供に関連する法律 看護師等の人材確保の促進に関する法律				講義	
4	医療の提供に関連する法律 医療法				講義	
5	医療の提供に関連する法律 医療職種に関する法律				講義	
6	医療の提供に関連する法律 その他医療提供に関連する法律 健康増進法 地域保健法				講義	
7	疾病予防・健康増進に関連する法律 感染症法 予防接種法 がん対策基本法 臓器の移植に関する法律 栄養士法 他				講義	
8	母子に関連する法律 母子保健法 児童福祉法 他 高齢者に関連する法律 高齢者の医療の確保に関する法律 介護保険法 老人福祉法 他				講義	
9	社会福祉及び障害者に関連する法律① 社会福祉法 生活保護法 障害者基本法 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律				講義	
10	社会福祉及び障害者に関連する法律② 精神保健福祉法 公認心師法 他 医療保健に関連する法律 健康保険法 国民健康保険法 他				講義	
11	医薬品・医療機器等に関連する法律 医薬品医療機器等法 薬剤師法 麻薬及び向精神薬取締法 毒物及び劇物取締法 他				講義	
12	食品に関連する法律 食品安全基本法 食品衛生法				講義	
13	労働に関連する法律 労働基準法 労働安全衛生法 労働者災害補償保険法 男女雇用機会均等法 育児・介護休業法				講義	
14	その他医療に関連する法律 教育基本法 学校保健安全法 環境に関連する法律 生活衛生に関連する法律 まとめ				講義	
15	テスト					
教科書		系統看護学講座 専門基礎 健康支援と社会保障制度4 看護関係法令 : 医学書院				
参考書・資料等		国民衛生の動向 : 厚生労働省統計協会				
評価指標		出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験				
関連科目		社会福祉学				
学生へのメッセージ						

専門基礎 分野					令和 7 年度	
授業科目名	公衆衛生学					
講師名	松森 大輔			実務経験	講師	
単位数	2 単位	授業回数	15 回	時間数	30 時間	
履修年度	2025 年度	学年	2 年次	履修期	前期	
学習目的	公衆衛生の基本、保健活動の基盤となる法や施策及び生活者の健康増進について理解する。					
到達目標						
学習スケジュール				課題・小テスト・使用機材等	授業方法	
1	公衆衛生とは 健康とは 公衆衛生の歴史 法律と憲法 予防活動 ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ			パワーポイント資料 PC、プロジェクター等	講義	
2	統計の種類 人口静態と人口動態 地域保健			パワーポイント資料 PC、プロジェクター等	講義	
3	疫学系統① 研究デザインの種類と特徴			パワーポイント資料 PC、プロジェクター等	講義	
4	疫学系統② 相対リスクと寄与リスク 社会疫学			パワーポイント資料 PC、プロジェクター等	講義	
5	母子保健① 母子保健法 歴史 母子保健施策			パワーポイント資料 PC、プロジェクター等	講義	
6	母子保健② 乳幼児健診 学校保健 学校保健活動			パワーポイント資料 PC、プロジェクター等	講義	
7	成人保健 生活習慣病 国民健康づくり運動			パワーポイント資料 PC、プロジェクター等	講義	
8	高齢者保健① 高齢者保健制度 在宅医療制度			パワーポイント資料 PC、プロジェクター等	講義	
9	高齢者保健② 高齢者虐待と対応			パワーポイント資料 PC、プロジェクター等	講義	
10	感染症 感染症の歴史と公衆衛生			パワーポイント資料 PC、プロジェクター等	講義	
11	食品衛生 食品の安全 食中毒			パワーポイント資料 PC、プロジェクター等	講義	
12	国際保健① 水 貧困 感染症問題			パワーポイント資料 PC、プロジェクター等	講義	
13	国際保健② 国際機関のはたらき 日本の国際協力			パワーポイント資料 PC、プロジェクター等	講義	
14	国際保健③ SDGs まとめ			パワーポイント資料 PC、プロジェクター等	講義	
15	テスト					
教科書	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度 2 公衆衛生 : 医学書院 よくわかる公衆衛生学 : 金原出版					
参考書・資料等	国民衛生の動向 : 厚生労働省統計協会 公衆衛生がみえる : メディックメディア					
評価指標	出席状況、課題提出状況(量・内容等)、授業への積極的参加、筆記試験(100 点)					
関連科目						
学生へのメッセージ						